

ピリ4:13

わたし つよ かた わたし  
私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

### 1. 現住所とは今、住んでいるところを言います

わたし にほん ひろしまけんひろしましあさみなみくやまもと す  
私は日本の広島県広島市安佐南区山本に住んでいます。しかし、私の国籍は韓国で、  
ソウル市ソンパ区オグム洞が元の住所です。私とみなさんは救われた神の民です。今、  
この地に住んでいるのは、しばらくの間だけで、本来の故郷は神の国、天国です。それ  
ゆえパウロは、ピリピ3:20節で、「私たちの国籍は天にあります」と言ったのです。

しかし、みお かえ ばしょ います てきとう  
見落としてはいけないことは、帰る場所があるから、今住んでいるところで適當  
に生きても良いと考えてはいけないということです。私は福音のため、伝道と宣教の  
ために神様から送られ、生まれて暮らしていた韓国を離れ、今ここに住んでいます。靈的  
には皆さんも同じです。私たちは皆、この世から呼ばれ、区別され、福音を宣べ伝える  
ために、神の国の模型である教会として、再びこの世に送られたのです。

ピリ1:5-6

5 あなたがたが最初の日から今日まで、福音を伝えることにともに携わってきたことを  
かんしゃ 感謝しています。

6 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでに  
それを完成させてくださると、私は確信しています。

1課で申し上げたように、神様がなさる良い働きとは、御子イエス・キリストの十字架  
の贖いを通して完成した救いの働きが証しえることであり、それによって神様の栄光

が現れることです。そのことを私たちの中で成し遂げるということは、私たちを創造の目的どおりに回復させるということです（イザ43：7、21）。

ピリ1:6節で使われた「良い」という言葉をローマ8:28節でも同じように使っています。

“神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働くいて益となることを、私たちは知っています”

ここで「益」と翻訳されている単語が「良い」という意味です。神様は、神様ご自身の良いみこころを成し遂げるために、今、ここ、この場所、この仕事、この家庭に住むようにしてくださったのです。

## 2. 神は、みこころのままに

しかし、私たちは、出エジプトしたイスラエルの民の荒野の生活のように、この地（世）を生きている間、絶えず不平を言い、不満を持って生きていきます。なぜ私はこの国に生まれたのか？なぜ私はこの町に住むべきなのか？なぜ私の仕事と家庭の状況はこうなのか？など…少しでも私の願いと合わない部分があれば神様を恨みます。

## ピリ2:13

神はみこころのままに、あなたがたのうちに働くいて志を立てさせ、事を行なわせてくださる方です。

神様が私たちの中で志を立てさせて事を行なわせてくださるのは、神様ご自身のみこころのまま（喜び）に働くいてくださることだと言われています。神様が私たちの喜びのために存在するのではなく、私たちが神様の喜びのために存在するのです。

上で読んだローマ8:28節にも明らかに「すべてのことがともに働いて益となる」と言っています。「すべてのこと」の中には嬉しく、楽しく、感謝することだけがあるわけではありません。悲しく、痛く、大変で、痛いことも含まれています。しかし、そのすべてが神様の喜ばれるみこころを成し遂げる過程に過ぎません。

今日の4課の本文のみことばも注意して見なければなりません。私に力をくださる方がおられるから私は何でもできるという意味ではなく、私には何の力がないが、すべてをすることができる方の中にいるので大丈夫だという告白なのです。その方はイエス・キリストです。その方の中にいるときに本当の喜びがあり(ピリ4:4)、その方の中にいるときに苦しみと苦難を受けても平安を味わうことができるのです(ピリ4:7、ヨハネ16:33)。

“いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。”(ピリ4:4)  
“そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。”(ピリ4:7)  
“これらのことあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。”(ヨハネ16:33)

レムナント伝道者の皆さんのがんじゅうしょ

「神の国 イエス県 キリスト市 中区 聖霊町1-3-8」です。